

2026年度

総合型選抜Ⅰ学生募集要項

創造工学部

2025年5月

《6月更新版》

香 川 大 学

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 本学入学者選抜の対応について

○活動報告、調査書等について

新型コロナウイルス感染症の影響による各種大会、資格・検定試験等の中止等により成果を活動報告や調査書等に記載できない場合は、その内容（大会や資格等について）及び成果獲得に向けた努力のプロセスやそれらに代わる目標に向けた努力等を記載してください。

なお、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格検定試験等の成果を評価する際には、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。また、高等学校等の臨時休業の実施の結果、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないことをもって、入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

目 次

創造工学部総合型選抜Ⅰにおける「女子枠」及び「専門高校枠」の新設について

1 入学者選抜日程の概要	1
2 入学者の受入方針	2
3 募集人員・出願手続等	5
4 出願書類等	
Ⅰ インターネット出願で入力する項目	11
Ⅱ 郵送が必要な出願書類等	12
Ⅲ 出願上の注意事項	13
5 選抜方法・日程等	14
6 入学手続	18
7 個人情報の取扱いについて	19
8 障害等のある入学志願者との事前相談について	19
9 出願資格審査について	20
10 本入試に関する照会先	20
11 総合型選抜相談会について	20
12 そ の 他	21
13 入試情報の開示について	
Ⅰ 入学者選抜試験における個人成績等の開示	21
Ⅱ 入試問題の閲覧	22
香川大学試験場案内図	23
建物配置図	24

創造工学部総合型選抜Ⅰにおける「女子枠」及び「専門高校枠」の新設について

2026 年度入学者選抜から、創造工学部総合型選抜Ⅰにおいて、「女子枠」及び「専門高校枠」を新設し、以下のとおり実施します。

【女子枠】

募 集 人 員	・ 情報コース 2 人 ・ 人工知能・通信ネットワークコース 1 人 ※創造工学部総合型選抜Ⅰの目安は以下のとおりです。		
	コース名	総合型選抜Ⅰ	女子枠 (内数)
	造形・メディアデザインコース	10	－
	建築・都市環境コース	5	－
	防災・危機管理コース	5	－
	情報コース	12	2
	人工知能・通信ネットワークコース	8	1
	機械システムコース	5	－
	材料物質科学コース	9	－
	合計	54	3
※女子枠は、募集人員の目安の内数とします。			
出 願 要 件	入学を志願できる者は、次の各号の要件（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ（４）に該当する女子です。 （１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び 2026 年 3 月卒業見込みの者又は高等専門学校の第 3 学年を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込みの者 （２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込みの者 （３）学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 （４）合格した場合は、入学を確約できる者		
選 抜 方 法 等	【第 1 次選抜】各コースの方法で、書類選考により選抜を行います。 【第 2 次選抜】第 1 次選抜合格者に対し、コースごとに課した選抜方法により総合的に評価し、選抜を行います。特に、 <u>面接において、幅広い視野、主体性、協働性、明確なキャリアパス、キャリアプラン、多様性への関心などについて問います。</u>		

【専門高校枠】

募集人員

・情報コース 2人

※創造工学部総合型選抜Ⅰの目安は以下のとおりです。

コース名	総合型選抜Ⅰ	専門高校枠 (内数)
造形・メディアデザインコース	10	－
建築・都市環境コース	5	－
防災・危機管理コース	5	－
情報コース	12	2
人工知能・通信ネットワークコース	8	－
機械システムコース	5	－
材料物質科学コース	9	－
合計	54	2

※専門高校枠は、募集人員の目安の内数とします。

出願要件

入学を志願できる者は、次の各号の要件（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ（４）に該当する者のうち、高等学校（中等教育学校を含む）の工業、商業、情報などに関する専門教育を主とする教育課程（本学が普通科と認める教育課程を除く）を履修した者です。

（１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び2026年3月修了見込みの者

（２）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

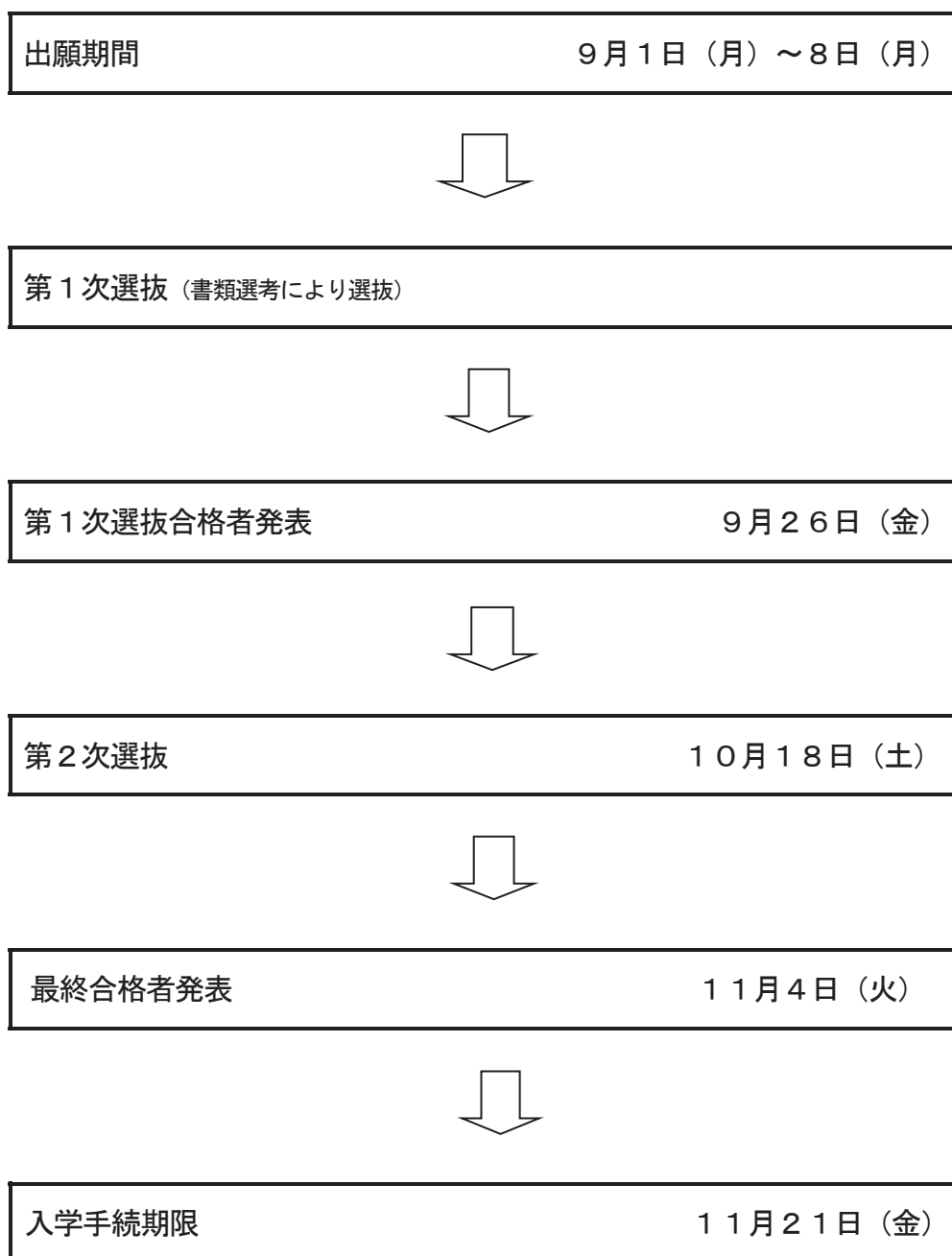
（４）合格した場合は、入学を確約できる者

選抜方法等

【第1次選抜】書類選考により選抜を行います。

【第2次選抜】第1次選抜合格者に対し、コースで課した選抜方法により総合的に評価し、選抜を行います。特に、面接において、専門技術職に向けた明確なキャリアパス、キャリアプラン、多様性への関心などについて問います。

1 入 学 者 選 抜 日 程 の 概 要



2 入学者の受入方針

1. 教育理念

日本のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から、「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており、人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに、「もの」や「こと」が創造的で新しいものであるほどそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し、また、「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから、「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は、これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため、以下に示す教育理念を定めています。

創造工学部では、人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドに加えて、デザイン思考能力並びにリスクマネジメント能力を磨くことで、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

2. 教育目標

創造工学部では、以下の素養を育成することを目標としています。

- 1) 専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
- 2) 高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
- 3) 地域を理解し、地域と協働して価値の創造を行う力
- 4) 審美力、多様性理解力、企画力、プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力
- 5) 様々なリスクを把握・抽出し、事前に対応策を講ずるとともに、想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

3. 教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は、全学生を対象に開設する科目で、人間的教養を高めるための教養教育科目です。1年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとIT社会において必要な能力を身につける情報リテラシー、現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は、工学の専門家としての素養を身につけるための科目で、エンジニアとしての倫理観、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と、それぞれの分野の専門を深めるためのコース専門科目に大別されます。

創造工学部は、「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため7つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため、それぞれの特性を持った「コース専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は、美術・建築・工芸等の分野で、瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を、今日的視点で多角的に研究・継承し、芸術的視点で統合しながら、工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって、優れたコミュニケーション能力、表現力を育成し、工業製品のデザイン、情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで、地域の限られた人的及び物的資源を活用し、安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し、建築、土木、環境等の関連分野を俯瞰し、これらを活かした質的価値の高い“暮らし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知

識の習得に加えて、地域固有の自然環境や歴史文化、社会基盤、種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び、測量士補の資格や建築士などの受験資格を得ることができます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく、国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また、現在のようなグローバル化した世界では、ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは、地域の強みと弱みをよく知り、経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び、何が脅威になるかという予見能力を持ち、ハードウェア、ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせ、危機を未然に防止し、防止できないときには危機が災害に、災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報コース】

IT・デジタル技術や人工知能の進化により、個人の生活から産業のあり方まで、社会全体が大きく変わろうとしています。この変化を加速させるためにコンピュータ、セキュリティ、データ分析等の基礎知識に加え、これらを実社会に応用できる実践的なスキルをもった次世代型のIT人材が求められています。当コースでは、これらの要求に応えるため、グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術、高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術、利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ、地域、日本、世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報技術者を育成します。

【人工知能・通信ネットワークコース】

私たちの生活を一層豊かで便利にするために、身の回りのあらゆるものを通信ネットワークで結び、人工知能（AI）を用いて自動化する技術や将来予測・意思決定に役立てる技術の開拓が求められています。本コースでは、これらに必要となる人工知能、無線・光通信ネットワーク、計測技術等を身につけるため、人工知能の基礎・応用、これらの電子回路上への実装、電気・通信ネットワーク系の基礎・応用を学びます。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し、「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。機械工学の基礎として解析力、力学、制御技術、設計・製図を身に付け、その上で、高度な機械システムを形成するために必要な電気電子、情報分野の知識についても学びます。そのため、自動車、電機、情報、鉄鋼、医療機器など機械システムに関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【材料物質科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは、材料科学の基礎であり、安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料の開発に不可欠です。新材料の創造は常に世界の先端技術をけん引しています。本コースでは、社会に貢献する新しい材料をつくり出すという視点から、材料・機械・電気・化学・物理・生物などに細分化されている学問を「環境材料化学分野」、「機械材料科学分野」、「光・電子材料科学分野」の3つに統合し、自然界の原理・原則・現象の理解を基礎とした幅広い実践的な教育研究を行います。本コースの卒業生は、製造業、化学、金属、素材メーカー、電気・電子部品など様々な分野で活躍しています。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

高等学校等における国語、外国語、数学、理科などを中心に、幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え、それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

物事を多面的な視点から思考し、自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち、身につけた知識・技術を分かりやすく表現し、共生環境創造、地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

技術者として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

本学部の専門領域における技術者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において、国語、外国語、数学、理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し、技術専門職として、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力も必要ですので、生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 入学者選抜の基本方針

第1次選抜では、出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価します。第2次選抜では、第1次選抜の合格者に対して、口頭試問、プレゼンテーションのいずれかと面接を課します。口頭試問は、基礎学力や将来性を評価します。プレゼンテーションは、各コースの課題に対する発想力、創造力、論理的思考力、表現力等を評価します。面接は、向上心、論理性、積極性、倫理観・社会的責任等を評価します。これらを総合的に判断し、最終の合格者を決定します。女子枠については、情報ビジネスや情報サービスの設計・開発において、多様なユーザの価値観を的確に反映できる人材の育成が急務となっていることから、特別に選抜を行います。また、専門高校枠については、専門高校で培った知識や明確なキャリア志向を地域社会で活かすことができる人材の育成が求められていることから、特別に選抜を行います。

3 募集人員・出願手続等

学部・学科名	創造工学部・創造工学科			
募集人員	54人 ※ () 内は内数とする。	造形・メディアデザインコース	一般	10人
		建築・都市環境コース	一般	5人
		防災・危機管理コース	一般	5人
		情報コース	一般	12人
			(女子枠)	(2人)
			(専門高校枠)	(2人)
		人工知能・通信ネットワークコース	一般	8人
			(女子枠)	(1人)
出願要件		機械システムコース	一般	5人
		材料物質科学コース	一般	9人
		入学を志願できる者は、次の各号の要件（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ（４）に該当する者です。		
		（１） 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び2026年3月修了見込みの者		
		（２） 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者		
		（３） 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者		
		ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの		
		イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者		
		ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者		
		エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）		
		オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの		
		カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者		
		キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの		
		ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの		
		（注）1 高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2026年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。		
		（注）2 出願資格の「ク」により出願する者は「事前審査」を行いますので、20ページ「9 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。		
		（４） 合格した場合は、入学を確約できる者		
		【女子枠出願を希望するもの】		
		入学を志願できる者は、上記の各号の要件（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ（４）に該当する女子とします。		
		【専門高校枠出願を希望するもの】		
		入学を志願できる者は、上記の各号の要件（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ（４）に該当する者、かつ高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業、商業、情報などに関する専門教育を主とする教育課程（本学が普通科と認める教育課程を除く。）を履修した者としてします。		

出願手続

〔1〕出願期間および出願方法（インターネット出願）

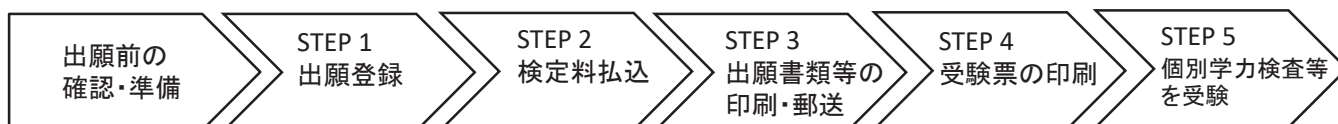
出願方法はインターネット出願のみです。

出願は、下記期間内に①出願登録、②検定料払込、③出願書類等の郵送によって完了します。

（①②③のすべてを行わなければ出願が受け付けられません。）

出願登録期間	9月1日（月）10時～9月8日（月）17時 ※8月18日（月）10時よりインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書保存）が可能です。
検定料払込期間	9月1日（月）10時～9月8日（月）17時
出願書類等到着期限	9月8日（月）17時必着 ※到着期限を過ぎて書類が届いた場合は、 <u>9月6日（土）までの消印があり、かつ簡易書留・速達</u> であるものに限り受け付けます。 ※9月8日（月）9時～17時に限り、出願書類等の持参を認めます。 受付場所 〒761-0396 高松市林町2217番地20 香川大学創造工学部学務係

■インターネット出願の流れ



■出願前の確認・準備

① 必要なインターネットの環境

パソコン	Windows：Microsoft Edge（最新バージョン） Google Chrome（最新バージョン） Firefox（最新バージョン） MacOS：Safari（最新バージョン）
スマートフォン タブレット	Android（13.0以上）：Android Chrome（最新バージョン） iOS（16.0以上）：Safari（最新バージョン）

※ ブラウザの設定は、どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。

- ・JavaScriptを有効にする。
- ・Cookieを有効にする。

※ セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。

※ PDFを表示するにはアドビ社のAdobe Acrobat Reader（無償）が必要です。他アプリケーションではPDFが正しく表示されない恐れがあります。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

② 印刷できる環境の確認

入学願書等PDFファイルを印刷する必要があるため、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③ メールアドレスの準備

出願登録の際にメールアドレスが必要です。登録したメールアドレスはIDとして利用するだけでなく、出願に関する重要なお知らせが配信されますので、日常的に受信を確認できるメールアドレスを登録してください（スマートフォン・携帯電話等のアドレスも可。同一メールアドレスで複数IDの登録はできません。）。

メールアドレスを持っていない場合は、フリーメール（Gmail, Yahoo!メール等）を取得してください。携帯電話でドメイン指定受信設定をしている場合は「@postanet.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

STEP 1

出願登録を行う

1 香川大学入試情報から「インターネット出願」にアクセス

香川大学入試情報>インターネット出願・進学支援サイト
(<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/16987/>)



※画面は変更となる場合があります。

2 ユーザー登録（初めて利用する場合）

- インターネット出願サイトのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- 利用規約に同意した後、メールアドレスを入力して「登録」ボタンをクリック。
- 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- 仮登録メールの受信から60分以内にパスワードを設定し、「利用登録」ボタンをクリック。

3 出願情報の入力

登録したメールアドレスとパスワードでインターネット出願サイトにログインしてください。
出願先に「香川大学」を選択後、出願内容（入試区分、学部学科等）、志願者情報等の必要事項（※11ページ参照）を画面の指示に従って入力してください。



志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容に誤りがないか、十分に確認してください。



「STEP2 検定料を払い込む」が完了すると、入力した出願登録情報が修正できなくなりますので注意してください。

※出願登録情報の修正の詳細についてはインターネット出願に関するQ&Aをご確認ください。

STEP 2

検定料を払い込む

検定料 17,000円

※検定料の他に、払込手数料

（支払い方法にかかわらず一律550円）が必要です。

※ペイジー（銀行ATM）においては、ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。

■支払方法の選択

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。

【注意】

『コンビニ』『ペイジー』を選択した場合は、必ず支払いに必要な番号を印刷又はメモしてください。

※支払い番号を忘れた場合は、インターネット出願サイトにログインすると、支払い番号を確認することができます。

■支払手続

※今後変更になる場合がありますので、最新情報はインターネット出願サイトで確認してください。

■クレジットカード

カード情報を入力すれば、決済が完了します（支払方法は一括      払いのみ）。

クレジットカードの名義人は志願者と同一である必要はありません。

■コンビニ

セブンイレブン	レジで「インターネット支払い」と伝えて、印刷した「払込票」を渡すまたは番号を伝えて代金お支払い
ローソン/ ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジで代金お支払い
ファミリーマート	「マルチコピー機」で手続後、レジで代金お支払い
セイコーマート	レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、代金お支払い
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	レジで「オンライン決済番号」を伝えて、代金お支払い

■ペイジー（銀行ATM）

ペイジー対応の銀行ATMで「料金払込（ペイジー）」を選択し検定料を払い込んでください。

※銀行ATMによってメニュー名称が異なります。上記はゆうちょ銀行の例。

■ペイジー（ネットバンキング）

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し検定料を払い込んでください。

! 支払手続が完了しないと、「STEP3 出願書類等を印刷・郵送する」に進めません。

STEP 3

出願書類等を印刷・郵送する

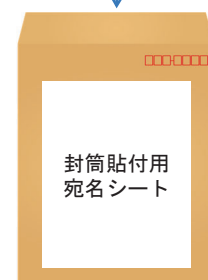
1 出願書類と封筒貼付用宛名シートを印刷

- 決済完了後、インターネット出願サイトに再ログインし、出願履歴から該当の出願登録情報の「詳細を確認」ボタンをクリックしてください。
- 画面下部にある「入学願書ダウンロード」ボタン及び「封筒貼付用宛名シートダウンロード」ボタンをクリックし、出願書類等のPDFファイルをダウンロードし、A4用紙に片面印刷してください。
- 印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を赤字で修正を加えてください。（訂正印は不要）



2 郵送用の封筒を準備

- 角形2号封筒（240mm×332mm）を準備してください。
- 印刷した封筒貼付用宛名シートを、角形2号封筒に貼り付けてください。



3 出願書類等を郵送

- 郵送が必要な出願書類等（※12～13ページ参照）が全て封入されていることを確認し、「簡易書留・速達」で郵送してください。

! STEP 1～STEP 3を、すべて期間内に完了することによって、出願が受理されます。インターネットで入力完了していても、出願書類等が期限までに到着しない場合は、出願を受理することができません。出願期間を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって出願してください。

STEP 4**受験票を印刷する**

下記期間中にインターネット出願サイトにログインし、「デジタル受験票ダウンロード」ボタンをクリックして画面下部にある受験票をダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

受験票ダウンロード期間

9月12日（金）10時 ～ 10月18日（土）20時

※「受験票」は入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので、大切に保管しておいてください。

STEP 5**第1次選抜の合否確認**

印刷した受験票で受験番号を確認し、第1次選抜の合否を確認してください。

STEP 6**第2次選抜を受験（第1次選抜合格者のみ）**

第2次選抜当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

インターネット出願に関するQ&A

- Q** 氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます。
- A** 氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。それでも入力難しい場合は、カタカナで入力してください。
〈例〉 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) III→3
- Q** ポップアップがブロックされ画面が表示できません。
- A** GoogleツールバーやYahoo!ツールバーなどポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合、ポップアップ画面が表示されない場合があります。本学のインターネット出願サイト(「portal.postanet.jp」及び「www.postanet.jp」)のポップアップを常に許可するよう設定してください。
- Q** コンビニ・ペイジーでの支払いに必要な番号を忘れました。
- A** インターネット出願サイトにログインすると、支払番号の確認画面を再表示できます。
- Q** ダウンロードした出願書類のPDFファイルを表示できません。
- A** PDFを表示するには、Adobe Acrobat Reader(無償)が必要です。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。
- Q** 出願書類を印刷するためのプリンターが自宅にありません。
- A** 学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境をご検討ください。
- Q** 出願登録後に出願内容を変更することはできますか？
- A** 【志願者情報(住所・氏名・電話番号等)を変更したい場合】
出願登録後は出願情報の変更ができません。検定料を支払う前であれば、既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。検定料を支払った後に誤りがあることが分かった場合は、印刷した入学願書に赤字で修正を加えてください(訂正印は不要)。
【志望理由書を変更したい場合】
検定料を支払う前であれば、変更可能です。インターネット出願サイトにログインし、「詳細を確認」ボタンをクリックして画面に進んでください。画面上部にある「活動記録を編集」ボタンをクリックし、登録内容を変更してください。
- Q** 出願書類等を郵送後、申込情報「受付完了」の日時が表示されません。
- A** 出願が受理され受験番号が付番された時点で、「受付完了」となり、当該欄に完了日時が表示されます。受付完了までしばらくお時間をいただくことがあります。なお、郵送状況の確認は、簡易書留受領証に記載されている引受番号を使って日本郵便ホームページの郵便追跡サービスから追跡(検索)してください。

インターネット出願の操作方法
に関する照会先

四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター

(075) 341-8620

受付期間：8月18日(月)～9月8日(月) 9:00～17:00

※土日・祝日を除く

4 出願書類等

I インターネット出願で入力する項目

	入 力 項 目	注 意 事 項
①	志 願 者 の 基 本 情 報	必要事項を入力してください。 ※住所は本学から送付する書類が必ず届く住所を入力してください。 ※電話番号は志願者・緊急連絡先あわせて必ず異なる電話番号を2つ以上入力してください。出願書類の不備等について本学から連絡することがあります。
②	志 願 者 の 写 真	志願者本人の顔写真のデータをアップロードしてください。 【顔写真の規格】 ・カラー ・出願前6ヶ月以内に撮影したもの ・正面向き、胸から上を撮影したもの ・無帽、無背景であること ・鮮明で、影のないもの ・写真サイズ比率 縦4：横3 （出願サイト内でトリミング可能） ・ファイル形式：JPEG（ファイルサイズ上限3.0MB） ※顔の大きさが写真全体の2/3になるように画像サイズを調整してください。 ※証明写真をカメラで再撮影したものをアップロードしないでください。
③	志 望 理 由 書 (800字以内)	次の点について800字以内で入力してください。 ①自己アピール ②志望するコースを選択した理由 ③将来の夢や希望

II 郵送が必要な出願書類等

インターネット出願で入力及び検定料の支払いを行った後、下表の①～④を郵送してください。

		出願書類等	注 意 事 項
全 員 が 提 出 す る も の	①	入 学 願 書	8 ページの手順に従ってこれらの出願書類をダウンロードし、A4用紙に印刷してください。
	②	志 望 理 由 書 (800字以内)	※「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックすることでダウンロードできます。
	③	調 査 書 等	1. 高等学校を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者は、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 2. 高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者については、出身学校において文部科学省所定の調査書に準じて作成された書類をもって調査書に代えることができます。 3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者については、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。 4. (1) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者は、当該試験の合格証明書（合格成績証明書を含む）を提出してください。 (2) 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者（科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を高等学校等で2026年3月までに修得見込みの者）は、当該試験の合格見込成績証明書を提出してください。 (3) 令和7年度高等学校卒業程度認定試験に出願し、2026年3月までに当該試験に合格予定の者は、本学所定の出願資格申告書及び当該試験の受験票のコピーを提出するとともに、一部科目を高等学校等で修得見込みの場合は、試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書を併せて提出してください。また、当該試験の結果通知があり次第すみやかに、合格証明書（合格成績証明書を含む）または合格見込成績証明書を創造工学部学務係まで郵送してください。本学所定の出願資格申告書様式は、本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/19194/）からダウンロードできます。 なお、過去に高等学校に在学したことがある者は、在学期間中の調査書を併せて提出してください。合格見込成績証明書を提出した場合は、単位修得後に合格証明書（合格成績証明書を含む）を提出してください。 出身学校の事情（廃校、被災、文書保管期間の超過等の理由）により調査書が得られない場合は、卒業証明書と下記の書類のいずれか1つを併せて提出してください。 ・成績証明書 ・単位修得証明書 ・成績通信簿 等 各証明書の発行対象に該当しない場合は、本証明書に代わり、証明書を発行することができない旨を証明する書類を提出してください。 なお、旧姓（名）で作成された証明書等を使用する場合は、戸籍抄本を併せて提出してください。

全員が提出するもの	④	課題に対するレポート	材料物質科学コース志願者以外 香川大学ホームページ(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/19194/)からダウンロードのうえA4用紙に印刷した本学所定の様式(各コースで定められた様式1～6)を用いて、志願者本人が A4用紙1枚にまとめて提出してください(PCでの作成可。手書きの場合はボールペンを用いて楷書で記入すること(消せるボールペンは不可)。氏名を記入すること。図やグラフがあっても可。カラー可。)。
			材料物質科学コース志願者のみ 第2次選抜でポスターを使って自由研究の発表をしてもらいます(テーマは自由)。その発表の概要を香川大学ホームページ(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/19194/)からダウンロードのうえA4用紙に印刷した本学所定の様式(様式7)を用いて、志願者本人が A4用紙1枚にまとめて提出してください(PCでの作成可。手書きの場合はボールペンを用いて楷書で記入すること(消せるボールペンは不可)。氏名を記入すること。図やグラフがあっても可。カラー可。)。

Ⅲ 出願上の注意事項

- (1) この総合型選抜Ⅰに不合格になった場合でも、学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜, 免除する学校推薦型選抜を含めて)を実施する国公立大学の1つの大学・学部に出願することができます。
- (2) この総合型選抜Ⅰに不合格になった場合でも、前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、合計3つの大学・学部に出願することができます。
- (3) 1. 出願書類に不備がある場合は受理できません。
 2. 出願書類受理後は、書類の返却及び記載内容の変更を認めません。
 3. 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 ※ 上記①又は②に該当される方は、香川大学入試課 TEL (087)832-1182へご連絡ください。
- (4) 郵送状況の確認は、簡易書留受領証に記載されている引受番号を使って日本郵便ホームページの郵便追跡サービスから追跡(検索)してください。電話による問い合わせには応じかねます。
- (5) 「女子枠」または「専門高校枠」に出願した場合、「一般枠」に併願されます。「女子枠」と「専門高校枠」の併願は出来ません。なお、「一般枠」と「女子枠」または「専門高校枠」の合格はいずれか1つの枠でのみ合格とします。

5 選抜方法・日程等

選抜方法等	第1次選抜及び第2次選抜の結果により総合的に適性や可能性を評価し、合格者を決定します。 1. 第1次選抜 コースごとの方法で、書類選考により選抜を行います。第1次選抜は、各コースにおいて、志願者数が下表の合格者数を超えない場合には実施しません。なお、その場合には志願者全員を第1次選抜の合格者とします。 各コースの選抜方法及び合格者数は次のとおりです。 <table> <tr> <th>コース</th><th>選抜方法及び合格者数</th></tr> <tr> <td>造形・メディアデザイン</td><td>志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。</td></tr> <tr> <td>建築・都市環境</td><td>志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。</td></tr> <tr> <td>防災・危機管理</td><td>志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。</td></tr> <tr> <td>情報</td><td>志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。</td></tr> <tr> <td>人工知能・通信ネットワーク</td><td>志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。</td></tr> <tr> <td>機械システム</td><td>志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の3倍程度までを合格者とします。</td></tr> <tr> <td>材料物質科学</td><td>志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。</td></tr> </table> 2. 第2次選抜 第1次選抜合格者に対し、コースごとに課した選抜方法により総合的に評価し、選抜を行います。 「女子枠」または「専門高校枠」から可否の判定を先に行い、不合格となった場合、「一般枠」での可否判定を行います。 各コースの選抜方法及び配点は次のとおりです。 <table> <tr> <th>コース</th><th>選抜方法</th></tr> <tr> <td>造形・メディアデザイン</td><td> 第1次選抜での得点と、課題から製作した作品に関するプレゼンテーション及び面接の総合点により選抜を行い、合格者とします。 課題:住民の「知的な好奇心」を刺激する公共サービスのデザイン提案をしてください。 注意1:「知的な好奇心」「公共サービス」については自由に定義し、根拠を説明すること。 注意2:サービス提供地域は任意に設定し、理由を説明すること。 </td></tr> </table>	コース	選抜方法及び合格者数	造形・メディアデザイン	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。	建築・都市環境	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。	防災・危機管理	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。	情報	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。	人工知能・通信ネットワーク	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。	機械システム	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の3倍程度までを合格者とします。	材料物質科学	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。	コース	選抜方法	造形・メディアデザイン	第1次選抜での得点と、課題から製作した作品に関するプレゼンテーション及び面接の総合点により選抜を行い、合格者とします。 課題:住民の「知的な好奇心」を刺激する公共サービスのデザイン提案をしてください。 注意1:「知的な好奇心」「公共サービス」については自由に定義し、根拠を説明すること。 注意2:サービス提供地域は任意に設定し、理由を説明すること。
コース	選抜方法及び合格者数																				
造形・メディアデザイン	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。																				
建築・都市環境	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。																				
防災・危機管理	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。																				
情報	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。																				
人工知能・通信ネットワーク	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。																				
機械システム	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の3倍程度までを合格者とします。																				
材料物質科学	志望理由書、調査書及び課題に対するレポートの評価を総合して選抜を行い、募集人員の2倍程度までを合格者とします。																				
コース	選抜方法																				
造形・メディアデザイン	第1次選抜での得点と、課題から製作した作品に関するプレゼンテーション及び面接の総合点により選抜を行い、合格者とします。 課題:住民の「知的な好奇心」を刺激する公共サービスのデザイン提案をしてください。 注意1:「知的な好奇心」「公共サービス」については自由に定義し、根拠を説明すること。 注意2:サービス提供地域は任意に設定し、理由を説明すること。																				

選抜方法等	建築・都市環境	第1次選抜での得点と、第1次選抜時に提出したレポートに基づくプレゼンテーション、口頭試問及び面接の総合点により選抜を行い、合格者としてします。
	防災・危機管理	第1次選抜での得点と、第1次選抜時に提出したレポートに基づくプレゼンテーション及び面接の総合点により選抜を行い、合格者としてします。
	情報	第1次選抜での得点と、口頭試問及び面接の総合点により選抜を行い、合格者としてします。
	人工知能・通信ネットワーク	第1次選抜での得点と、口頭試問及び面接の総合点により選抜を行い、合格者としてします。
	機械システム	第1次選抜での得点と、口頭試問及び面接の総合点により選抜を行い、合格者としてします。
	材料物質科学	第1次選抜での得点と、第1次選抜時に提出した課題に対するレポートに基づく自由研究ポスタープレゼンテーション及び面接の総合点により選抜を行い、合格者としてします。
	※総合評価が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも不合格とすることがあります。 〔1〕口頭試問 ・ 建築・都市環境コース 口頭試問は、数学や、物理の力学に関する基本的な問題を出題し、基礎学力を評価します。なお、数学は「数学Ⅰ」、「数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」の4科目を出題範囲とし、物理は「物理基礎」および「物理」の2科目のうち「力と運動」の分野を出題範囲とします。 ・ 情報コース 口頭試問は、志望理由書及び課題に対するレポートに基づいた項目から出題し、情報分野の基礎学力や将来性を評価します。 ・ 人工知能・通信ネットワークコース 口頭試問は、数学Ⅱから問題を出題し、基礎学力を評価します。解答にはホワイトボードを使用します。時間は15分程です。 ・ 機械システムコース 口頭試問では、物理は「物理基礎」および「物理」の2科目を出題範囲とし、数学は「数学Ⅰ」および「数学Ⅱ」の2科目を出題範囲とし、基礎学力を評価します。解答にはホワイトボードを使用します。 〔2〕プレゼンテーション プレゼンテーションは、各コースの課題に対する調査分析力、発想力、論理的思考力、創造力、表現力等を評価します。 ○準備物及び実施方法 ア 造形・メディアデザインコースの受験者は、下記に示す①～③から選んでプレゼンテーションを行ってください（複数選択可）。選択した①～③のみ試験室に持ち込み可能です。 5分のプレゼンテーションの後に、質疑応答及び面接を行います。 ① 持参PC／タブレット ・ 本学でHDMI入力のプロジェクタ、HDMIケーブル、スピーカー及びレーザーポインターを用意します。機器からケーブルまでに必要なコネクタ等は各自で用意してください。 ・ スピーカーはステレオミニケーブルで接続します。ステレオミニケーブルは本学で用意します。 ・ 印刷物を3部持参してください。プロジェクタで表示できない場合に使用します。	

選抜方法等

- ② パワーポイントファイル
- ・本学で、パソコン、プロジェクタ、スピーカー及びレーザーポインターを用意します。
 - ・利用可能なソフトウェアは、Microsoft Office PowerPoint 2010以降です。
 - ・メディアはUSBフラッシュメモリにのみ対応しますので、各自で作成した電子ファイルをUSBフラッシュメモリに保存し持参してください。
 - ・インターネットへの接続はできません。
 - ・スライドを印刷した紙を3部持参してください。プロジェクタでスライドが表示できない場合に使用します。

- ③ 作品
- ・サイズ不問。ただし、受験者が一人で試験室に持ち込めるものとしします。
 - ・本学で幅180cm、奥行き90cm、高さ70cmの展示台を用意します。
 - ・試験室の扉は幅90cm、高さ180cmです。
 - ・試験開始までに音や臭いなどで他の受験者に迷惑となる作品を持ち込んだ場合は、受験資格を失う可能性があるので注意してください。

イ 建築・都市環境コース及び防災・危機管理コースの受験者は、プレゼンテーション用ポスター（模造紙（四六判（788×1091mm））1枚）のみ試験室に持ち込み可能です。本学でレーザーポインターを用意します。5分のプレゼンテーションの後に、質疑応答及び面接を行います。

ウ 材料物質科学コースの受験者は、自由研究発表ポスター（模造紙（788×1091mm）程度の大きさ）のみ試験室に持ち込み可能です。本学でレーザーポインターを用意します。5分のプレゼンテーションの後に、質疑応答及び面接を行います。

〔3〕面 接

面接は、提出書類（調査書及び志望理由書等）を資料とし、向上心、論理性、積極性等を評価することを目的とします。

調査書については、勉学状況、特記事項を評価します。調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。生徒会活動、クラブ活動、ボランティア活動、文化活動、スポーツ活動などにおいて実績を挙げているもの、また、優れた特技及び英語検定、TOEIC、TOEFL、情報処理技術者試験、電気工事士などの資格を取得しているものを評価します。

「女子枠」または「専門高校枠」に出願した場合、上記内容に加え、その求める学生像に応じた事項を質問し、評価します。

〔4〕配 点（一般枠・女子枠・専門高校枠 共通）

コース	配 点			
	第1次選抜での得点 (志望理由書、調査書、課題に対するレポート)	口頭試問又は プレゼンテーション	面 接	計
造形・メディアデザイン	120	360	120	600
建築・都市環境				
防災・危機管理				
情報				
人工知能・通信ネットワーク				
機械システム				
材料物質科学				

試 験 日	第 1 次 選 抜 (書類選考)	第1次選抜は、書類選考により合否を決定します(書類選考のため、来学する必要はありません)。 合格者の発表は、下記日時に本学ホームページ上に掲載します。 2025年9月26日(金) 午前9時(予定) 香川大学ホームページ https://www.kagawa-u.ac.jp/ ※1 電話等による合否の問い合わせには応じません。 ※2 郵送による合否の通知は行いません。 ※3 第1次選抜合格発表時に、本学ホームページで第2次選抜の集合時間を通知します。					
	第 2 次 選 抜	試験日時:2025年10月18日(土) 午前9時00分～ 試験場所:香川大学創造工学部 香川県高松市林町2217番地20 <table border="1"><tr><td colspan="2">造形・メディアデザイン, 建築・都市環境, 防災・危機管理, 情報, 人工知能・通信ネットワーク, 機械システム, 材料物質科学 各コース受験者</td></tr><tr><td>区 分</td><td>口頭試問又はプレゼンテーション, 面接</td></tr><tr><td>時 間</td><td>9:00～または12:00～</td></tr></table>	造形・メディアデザイン, 建築・都市環境, 防災・危機管理, 情報, 人工知能・通信ネットワーク, 機械システム, 材料物質科学 各コース受験者		区 分	口頭試問又はプレゼンテーション, 面接	時 間
造形・メディアデザイン, 建築・都市環境, 防災・危機管理, 情報, 人工知能・通信ネットワーク, 機械システム, 材料物質科学 各コース受験者							
区 分	口頭試問又はプレゼンテーション, 面接						
時 間	9:00～または12:00～						
第 2 次 選 抜 受 験 上 の 注 意 事 項	〔1〕 試験当日は、出願後に各自でダウンロードのうえ印刷した「受験票」を必ず持参してください(郵送はいたしません)。 なお、「受験票」は、入学試験個人成績等開示申請の際に必要なので、大切に保管しておいてください。 〔2〕 試験当日は、第1次選抜合格発表時に本学ホームページ上で通知した集合時間までに集合してください。 〔3〕 15分以上遅刻した場合は受験できませんので、試験時間をよく確認しておいてください。 〔4〕 携帯電話、スマートフォン等電子機器の使用は禁止します。所持している場合は、電源を切っておいてください。使用した場合は不正行為とみなすことがあります。 〔5〕 面接等の待機時間が長時間になる場合があります。待機中は、控え室から退室できませんので、読書等の準備をしてください。 〔6〕 不正行為のあった場合は、直ちに退場してもらいます。 なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。 〔7〕 第2次選抜についての詳細は、試験場に掲示します。 〔8〕 その他、追加連絡事項がある場合には、出願の際に登録したメールアドレスに、別途通知しますので、確認してください。						
最終合格者発表	最終合格者の発表は、下記の日時に本学ホームページ上に掲載します。 また、本人には合格通知書(入学手続に要する書類を含みます。)を送付します。 2025年11月4日(火)午前9時(予定) 香川大学ホームページ https://www.kagawa-u.ac.jp/ ※ 電話等による合否の問い合わせには応じません。						

6 入学手続

〔1〕入学手續期限

2025年11月21日(金)

合格者は、入学手続期限までに入学手続を完了してください。

入学手続書類は、「簡易書留・速達」とし、2025年11月21日（金）17時（必着）までに香川大学創造工学部学務係へ送付してください。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

なお、入学手続きに関するの詳細は、合格通知書送付時に通知します。

〔2〕入学手続きに必要なもの

入学手続きに必要なものは、次のとおりです。

- | | | | |
|---|-----------|----------|--------------|
| ① | 本学所定の誓約書 | 1部 | |
| ② | 本学部に必要な書類 | | |
| ③ | 納付金 | 入学科 | 282,000円(予定) |
| | | 授業料(前期分) | 267,900円(予定) |
| | | (年 額) | 535,800円(予定) |

なお、入学時及び在学中に納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

- (注) 1. 前期分の授業料については、2026年4月1日から2026年5月31日までの間に納付してください。
- また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。
2. 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ① 入学手続きを行わなかった場合
 - ② 入学料を誤って二重に納入した場合
 - ③ 高等教育の修学支援新制度の入学金・授業料の減免対象者が減免額を誤って納入した場合
3. 出願要件として「合格した場合は、入学を確約できる者」となっていますので、他大学受験のための辞退は認められません。
4. 特別の事情が生じて入学を辞退せざるを得なくなった場合は、本人が辞退理由を自筆した「入学辞退届」（様式は任意）を、2025年11月21日（金）までに、本学学長宛てに提出しなければなりません。
5. 合格者が入学又は入学辞退のいずれの手続も行わない場合は、合格者としての権利を消失します。この場合、他の国公立大学・学部等を受験しても入学許可は得られません。
6. 入学手続きを完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、2026年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

7 個人情報の取扱いについて

1. 出願書類に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報）は、入学者選抜、合格通知及び入学手続を行うために利用します。また同個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。
2. 入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析、各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し、本学の関係教職員以外への提供は行いません。また、調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
3. 国公立大学の入試における合格者決定業務を円滑に行うため（追加合格者決定業務を含む）、合格者の情報（氏名及び入学手続状況）は、独立行政法人大学入試センター等へ送達されます。
4. 提出された出願書類の個人情報を電算処理するため、当該電算処理に係る業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

8 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害がある等、受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教員等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害等のある者については、申出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせください。

区 分	障 害 等 の 程 度
視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害 (ADHD, 自閉症等), パニック障害, 頻尿

〔1〕相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

申請書の様式は、本学ホームページ (https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge-2/) からダウンロードしてください。

〔2〕問い合わせ先

香川大学入試課 〒760-8521 高松市幸町1番1号 TEL(087)832-1182

9 出願資格審査について

出願資格の「ク」により出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

(1) 申請期限

2025年8月1日（金）**17時必着**とします。

(2) 審査の期限

申請書受理後、随時行うものとします（審査期間として2週間程度を要します）。

(3) 申請書類

①出願資格審査申請書（本学所定の様式）※

②修了（卒業）証明書又は修了（卒業）見込証明書

③成績証明書又はこれに準ずるもの

④修業年限、カリキュラム等が記載された書類

⑤返信用封筒（長形3号の封筒に760円分（定形50g以内の簡易書留・速達料金分）の切手を貼り、申請者の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。）

※本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge/）で入手できます。

(4) 申請書の提出方法及び提出先

申請書類を郵送する場合は、必ず「簡易書留・速達」とし、封筒表面に「出願資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

提出先 〒761-8521 高松市幸町1番1号 香川大学入試課 宛
TEL (087)832-1182

10 本入試に関する照会先

香川大学入試課

〒760-8521 高松市幸町1番1号

TEL(087)832-1182

香川大学創造工学部学務係

〒761-0396 高松市林町2217番地20

TEL(087)864-2015

11 総合型選抜相談会について

詳細については、香川大学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）でご案内する予定です。

12 そ の 他

[1] ノートパソコン必携について

本学では、急速に進む高度情報化社会においてICT（情報通信技術）を充分に活用できる能力を有する人材を輩出すること、ICTを活用した先進的講義手法により教育力を強化すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、2021年度の入学生からパソコンの必携化を実施しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお、特別な事情がある場合は創造工学部学務係までご相談ください。

[2] 合格者には、課題によるレポートの提出等入学前教育を実施する予定です。

13 入試情報の開示について

I 入学者選抜試験における個人成績等の開示

(1) 開示内容

第2次選抜の試験成績の開示を希望する受験者には、本人の申請により、総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点並びに総合順位を通知します。

ただし、合格者が10人に満たないコースの受験者には、総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点のみを通知します。

2026年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は、下記のとおり申請してください。

(2) 申請方法

下記①～③の書類を同封し、郵送（レターパックライト）にて申請してください。**郵送以外での申請は認められませんのでご注意ください。**

① 本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」

本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/4192/）から様式をダウンロードしてください。

② 本学の受験票

受験票を添付できない場合は、運転免許証、健康保険証等のコピーを添付してください。

なお、提出された受験票は、入学試験個人成績等通知時に返却します。

③ 返信用レターパックプラス（お届け先欄に本人の住所、氏名及び電話番号を記入したもの） レターパックプラスは二つに折って入れてください。

(3) 申請書受理期間

2026年4月10日(金)から2026年5月8日(金)まで(当日消印有効)

(4) 申請先

〒760-8521 高松市幸町1番1号 香川大学入試課 TEL(087)832-1182

(5) 申請者に対する開示時期

2026年6月中旬ごろに郵送（レターパックプラス）にて本人に通知します。

(6) その他

開示に要する手数料は、無料とします。ただし、郵送料は申請者の負担とします。

Ⅱ 入試問題の閲覧

(1) 本学入試問題については、香川大学入試課において閲覧できます。

閲覧時間は、9時から17時までです。

※土曜日、日曜日、祝・休日、本学の夏季一斉休業期間（8月中旬）及び12月29日～1月3日を除く。

○ 問い合わせ先：香川大学入試課 TEL (087) 832-1182

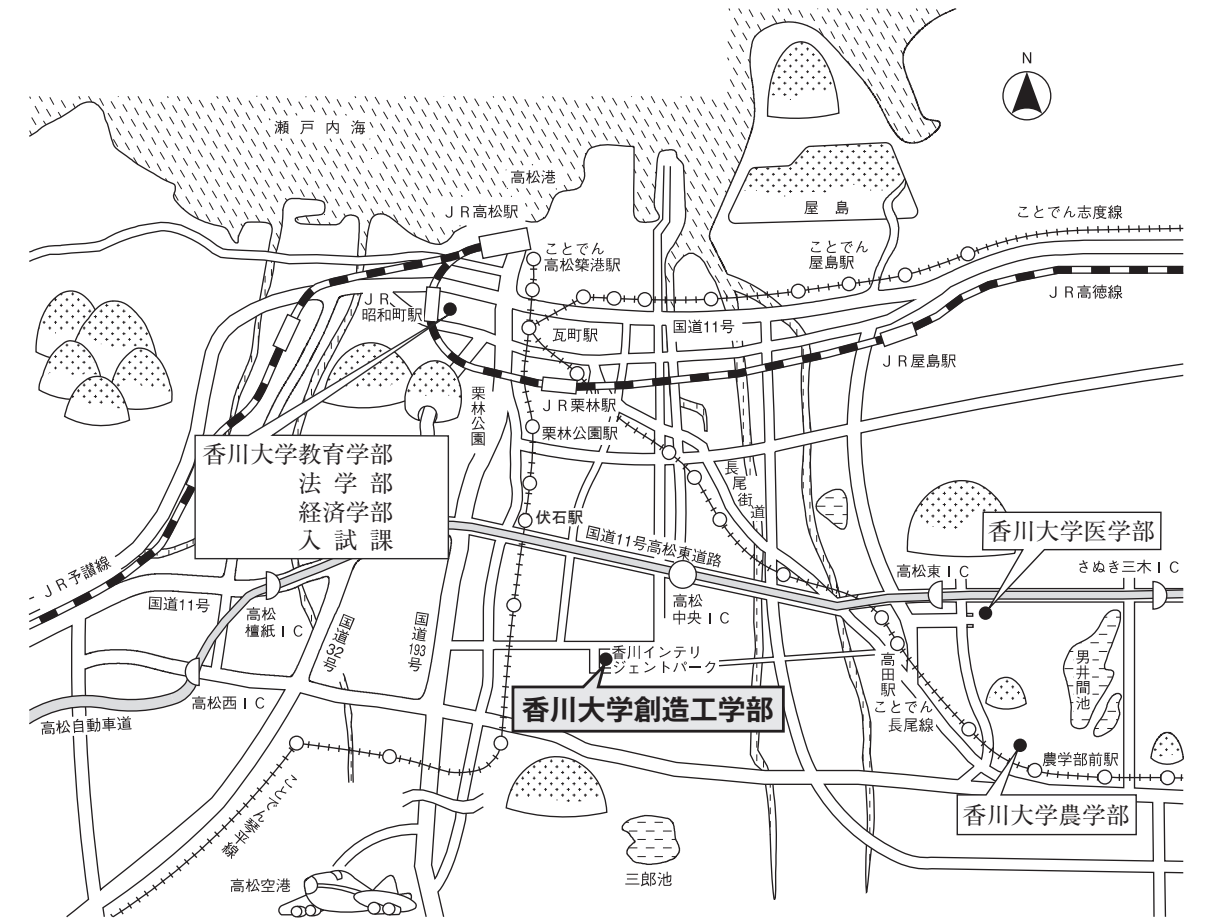
(2) 情報提供の一環として、本学ホームページ上においても、入試問題を公表します（原則として過去1年分のみ）。なお、著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

○ 公表予定期間

2026年4月から約1年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

香川大学試験場案内図



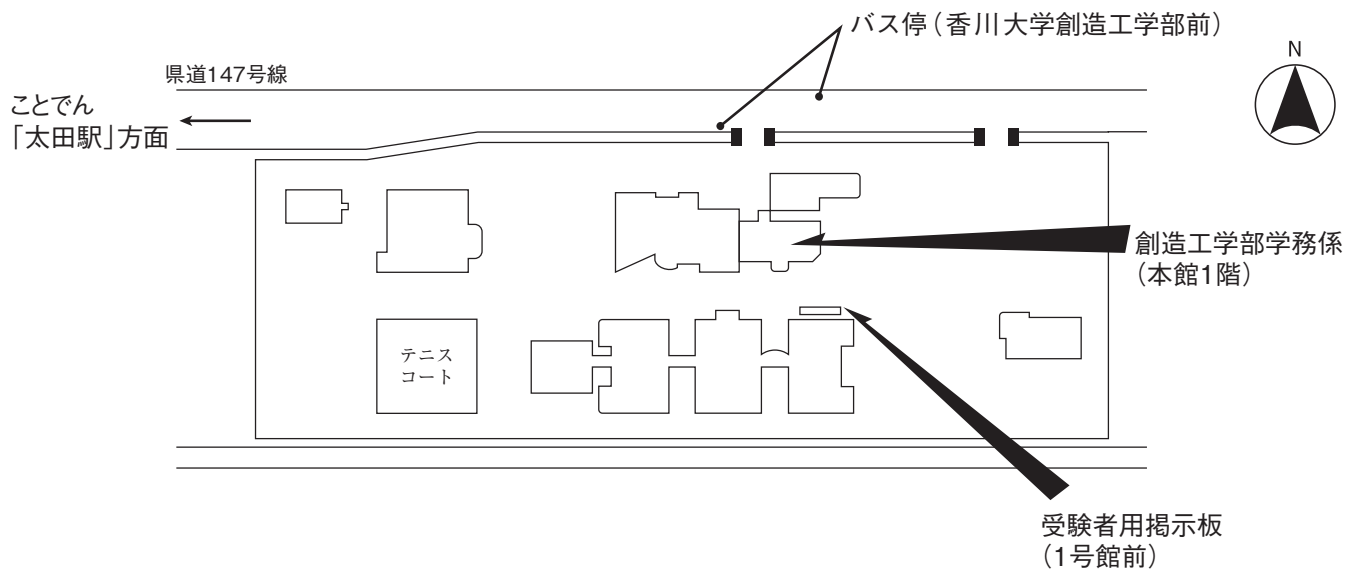
創造工学部

電 車	ことでん琴平線「高松築港駅」→「伏石駅」下車 バス約10分 ことでんバス 伏石駅サンメッセ線「香川大学創造工学部前」下車すぐ
バ ス	J R 高松駅発（高松駅前⑧番のりば） ことでんバス 65川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」→「香川大学創造工学部前」下車 徒歩1分（南へ50m） ことでんバス 61川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分（西へ500m）
高 速 バス	高速バス「高松中央インター南」下車 北西へ徒歩3分（200m）又は ↓ 「高松中央インターバスターミナル」下車 西へ徒歩5分（380m） ことでんバス 61川島線・サンメッセ香川経由便 63西植田線 「さこ」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分（500m） ※徒歩の場合、「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分（約1.8km） 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分（約2.0km）
タ ク シ ー	J R 高松駅→香川大学創造工学部 約30分 約3,500円

（注）電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

建 物 配 置 図

林町キャンパス（創造工学部）



入学試験等に関する照会先

香川大学創造工学部学務係

TEL (087) 864-2015
〒761-0396 高松市林町2217番地20

香川大学入試課

TEL (087) 832-1182
〒760-8521 高松市幸町1番1号

香川大学ホームページ

<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

インターネット出願の操作方法に関する照会先

四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター

TEL (075) 341-8620

※受付期間 2025年8月18日(月)～9月8日(月) 9:00～17:00

※土日・祝日を除く

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。